

石巻市の行財政運営に対する意見（山下英朗委員）

| 項目 | 意見 |
|----------------|---|
| 1 公から民への施策転換 | <p>民間への業務委託 民間でできることは民間に請け負ってもらおう。その為にも、業務の精査をしっかりと行う。また、民間に仕事を任せてから役所は随時チェックを入れ、関わりを持つ</p> |
| 2 定員削減と職員の意識改革 | <p>職員の適材適所への配置 震災後職員も大変な担いをもって仕事をしている中で、部署によっては、病気やストレス等による、長期休養がみえる。仕事の質やスピードを上げるためにも、仕事の量が多いところには人員を多く割くなどをして対応</p> |
| 3 財政の健全化 | <p>全体の財政の執行状況の確認 震災前と震災後では、執行状況が変わってくる。震災前は間もなく赤字経営に陥るといわれていた。そのような中で震災が起こり、復興後の石巻市全体の予算を見据えて事業を計画しているとは思えないので、復興後の財政経営をしっかりと見て行かなければならない。</p> |
| 4 成果志向の行政経営 | <p>行政経営に成果志向はいらぬ 行政は市民（地域）のために事業をするのが仕事であり、そこに、一企業のように成果志向の仕組みを作るのが間違っている。</p> |
| 5 市民志向と説明責任 | <p>職員教育の充実 部長、課長の方々から教育をし、それを、各部署の職員に伝播させる。たとえば、民間職業指導の方を呼び講演していただく。部署内でのワーキングの時間を設けて話し合いを持つ等</p> |